**令和3年度　事業報告**

　　今なお続く新型コロナウィルス感染症の影響により、対面でのイベント開催は自粛

せざるを得ない状況が続いていたが、オンラインを本格的に活用することにより、

前年度よりも協会活動を活発なものにすることができた。

**≪総務部会≫**

　　令和３年度は、書面決議での総会開催と会則改正、ZOOMの有料アカウントを契約

更新しオンライン主体での運営事務を行った。また、関連諸団体の活動内容について速やかに会員へメール配信を行った。

1．役員会：3か月に1回程度開催する。

なお、当面集合しての開催は必要最低限にとどめ、ZOOMでのオンラインを主体に開催していく。

結果：以下の通り開催した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 日時 | 場所 |
| 第1回 | 令和3年4月22日 | ZOOMにてWEB開催 |
| 第2回 | 令和3年7月1日 | ZOOMにてWEB開催 |
| 第３回 | 令和3年9月27日 | ZOOMにてWEB開催 |
| 第4回 | 令和3年12月2日 | ZOOMにてWEB開催 |
| 第5回 | 令和4年2月3日 | ZOOMにてWEB開催 |

2．定例総会の準備

役員と連携し、以下の業務を行う。

1. 会場の確保、議案書及び開催案内等の作成・発送
2. 出席者（定数）等の把握
3. 会場設営、受付業務

　 結果：コロナウィルス拡大に伴い今年度も書面決議での総会開催とし、令和3年6月

18日に書面決議結果を会員へ周知した。

3．会員名簿等の管理

計画：入・退会届、変更届及び専門部会の届出の処理

結果：提出された届出等について処理を行った。

4．財務関連

1. 予算案及び決算書の作成
2. 活動費の出金・入金処理
3. 会費の徴収、督促等　　なお今年度の年会費も9,000円から7,000円へ値下げし徴収を行う。

　結果：総会資料として予算案及び決算書の作成を行った。

今年度から会費納入期限を設け、期限超過後は速やかに督促を行い、未収金の回収を完了した。なお、督促に係る諸費用は5,360円を要した。

また活動費の出入金処理を適正に行った。

5．北海道・東北ブロック医療ソーシャルワーカー交流会　運営協力

　(1)日程：検討中

　(2)山形県医療ソーシャルワーカー協会との連絡調整

(3)開催周知や申込受付

(4)適宜実行委員会の出席

(5)事業に係る予算の出金・入金処理

　結果：令和4年2月19日（土）10：00~12：40の日程でオンライン開催となった。

　　　　開催にあたり各県の紹介動画を作成し提出。終了後速やかに共催費用を納入済み。

6．関連諸団体との連携及び社会活動

　　結果

 （１）協会員の派遣

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | 日時・期間 | 被派遣者 |
| 第26回全国医療ソーシャルワーカー協会会長会出席（ZOOMにてWEB開催） | 令和3年6月5日 | 介護老人保健施設博愛荘　小泉　進 |
| 第27回全国医療ソーシャルワーカー協会会長会出席（ZOOMにてWEB開催） | 令和3年11月6日 | 岩手医科大学附属病院　青木　慎也 |
| 岩手県ソーシャルワーク3団体情報交換会出席（ZOOMにてWEB開催） | 令和3年11月27日 | 岩手医科大学附属病院　青木　慎也介護老人保健施設博愛荘　小泉　進いわてﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ　巣内　洋肇 |
| 都道府県社会貢献事業担当者会議出席（ZOOMにてWEB開催） | 令和3年12月1日 | 介護老人保健施設博愛荘　小泉　進岩手医科大学附属病院　後藤　涼太 |
| 全国医療ソーシャルワーカー協会会長会　研修部会出席（ZOOMにてWEB開催） | 令和4年1月17日 | 介護老人保健施設博愛荘　小泉　進岩手県立大学　伊藤　隆博 |
| 岩手県福祉サービス運営適正化委員会へ委員派遣 | 令和2年11月24日～令和4年11月24日まで | 孝仁病院　佐々木章 |
| 岩手県介護支援専門員研修へ講師派遣 |  | 北上済生会病院　菊池涼子南昌病院 吉田利春松園第二病院　長田　くみ子いわてﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ　巣内　洋肇 |
| 岩手県医師会人生最終段階の医療をかかりつけ医とともに考える委員会　在宅医療・救急医療・介護連携小委員会　委員派遣 | 平成31年4月26日～令和3年3月7日まで | 盛岡赤十字病院　阿部邦子 |

（２）関連団体の後援

　　　　・いわてリハビリテーションフォーラム2021（8/4）

　　　　・第47回岩手県精神保健福祉大会（9/21）

　　　・いわて脳損傷リハビリテーション講習会（9/21）

7.部会の開催

　　部会を適宜開催し、事務処理や財務処理に遅れのないよう活動する。

　　結果：以下の通り開催した

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　　　 | 日時 | 場所 |
| 第1回 | 令和4年3月2日 | ZOOMにてオンライン開催 |

8．その他

　　保健医療功労者表彰

　　　当協会より山舘 幸雄 前会長を推薦した結果、山舘氏の功績が認められ、

令和3年11月17日、達増岩手県知事より表彰を受ける。表彰式には小泉副会長も同席した。

**≪広報部会≫**

ホームページ及びFacebookを活用した会員・非会員向けの情報発信を随時実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で研修会の開催回数が少なかったことなどにより、Facebookの投稿及びレポートの掲載回数は少なかった。

研修会の部会員のレポート作成及びホームページへの掲載を実施した。

会報については、山舘幸雄氏の岩手県保健医療功労者表彰を記念した特別インタビューを掲載したほか、会報第50号の発刊を記念して宗教家とのスペシャル対談を実施し、その内容を掲載した。

　１．ホームページ及びFacebookの研修案内、レポートの随時掲載

　２．会報第50号の発刊

　　３．年２回の部会開催（令和３年７月５日、令和３年10月26日）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 広報媒体 | 活動計画 | 活動実績 | 回数等 |
| Facebook | 研修案内、研修報告、ホームページの更新情報を掲載 | 1. 研修案内及び開催レポート等を掲載
2. Facebookのメッセンジャーを通じた一般の方からの相談に対応
 | 投稿７回 |
| ホームページ | 役員会・研修会レポート研修案内 | 1. 広報部会員が研修会に参加し、レポートを掲載
2. 研修案内を掲載
3. その他：

・山舘幸雄氏の岩手県保健医療功労者表彰のレポート・「災害とソーシャルワーク」の動画公開 | 研修会レポート掲載２回６回 |
| 会報 | 第50号 | 1. 第50号スペシャル対談（長徳寺住職認定臨床宗教師渋谷真之氏、藤源寺住職佐藤良規氏）
2. 山舘幸雄氏保健医療功労者表彰記念特別インタビュー
3. 協会この1年　等
 | 令和4年6月末発刊予定 |

**≪教育研修部会≫**

新型コロナウィルスの感染拡大により集合研修の実施が困難となり、オンライン研修への準備が整わなかった令和２年度だったが、令和３年度はオンラインの「ライブ」「オンデマンド」、集合とオンラインの「ハイブリッド」による研修を企画し、対応可能な機材を購入した。配信はZoom、オンライン研修の参加申し込み・会費徴収・資料配布等にPeatixを導入し、体制を整えることができた。研修参加者へのアーカイブ配信の実施や公開シンポジウムをYouTubeで一般公開するなど、新しい試みに取り組んだ。

しかし急激な感染拡大から集合研修は延期や中止、オンラインへの変更を余儀なくされたものもあった。また受講人数の低迷、参加者の固定化傾向が続いたため研修アンケートを実施しニーズの抽出を図った。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催日 | 研修名称 | 開催方法 | 受講人数 |
| 令和３年７月４日(日) | 公開シンポジウム「災害とソーシャルワーク」 | オンライン | ７９名 |
| 令和３年７月１７日(土) | 事例検討Ⅰ | 集合 | ５名 |
| 令和３年８月２１日(土) | スーパービジョンの概要 | オンライン | ３８名 |
| テーマ別座談会「初任者編」 | 集合 | １２名 |
| 令和３年９月１１日(土) | ソーシャルワーク記録 | オンライン | ４０名 |
| 令和３年１１月6日(土) | スーパーバイザー養成研修Ⅰ | 集合 | ４名 |
| 令和３年１２月４日(土) | ソーシャルワークとしての退院支援 | オンライン | ３２名 |
| 令和３年１２月１８日(土) | テーマ別座談会「機能別編」＆「地域別編」 | オンライン | １２名 |
| 令和４年3月５日(土) | スーパーバイザー養成研修Ⅲ | オンライン | ４名 |
| 令和４年３月１９日(土) | テーマ別座談会「リーダー編」 | オンライン | ７名 |

**≪調査研究部会≫**

現在の保健医療福祉の状況を踏まえ、会員や協会活動に役立てるための調査に取り組んだ。

1.県内M S Wに関する実態調査

・会員のニーズ調査として、教育研修部会と連携し、オンライン座談会からクライエントや会員、地域の課題を抽出・整理し、課題解決に向けた協会活動の下地作りを行う。

⇒教育研修部会と連携し、会員ニーズ調査（座談会参加者から現状把握・課題分析）を行った。

⇒ソーシャルワーク実習を県内の医療機関で受けたい学生が増えているが受入機関が少ないという現状を踏まえ、受入状況についてアンケート調査を行った。

・広報部会と連携し、調査の結果報告を行う。

⇒ホームページに座談会での会員ニーズ実習アンケートの結果を掲載し報告を行った。

2.外部からのアンケート調査の対応

⇒外部アンケートはなかったが、第1回都道府県協会社会貢献事業担当者会議に理事が出席し岩手県の取り組み報告、全国の動向把握をした。

3.部会の開催

⇒令和4年3月28日(月)にオンライン会議で開催した。その他チャット、メールを活用し連絡や打合せを行った。